

第10回マイタウン・バス南部線雄和地域運行協議会議事要旨

開催日時 平成27年1月18日（日） 午前10時00分～11時20分

開催場所 雄和市民サービスセンター 洋室6

委員定数 15人

出席委員 11人

次 第 1 開 会
2 議 事
3 その他
4 閉 会

議 事 議事1 利用実績について
議事2 フリー乗降区間の設定について

〈議事〉 会	長	これより議事に入る。 議事1 利用実績について、事務局から説明をお願いする。
事務局		(議事1の内容を説明)
会	長	事務局からの説明について、何か質問、意見等あるか。
委員		市として、マイタウン・バスの南部線の費用についてどう考えているのか。
事務局		運送収入1,300万円弱に対し、欠損額8,500万円程の費用がかかっている。
委員		利用者が増えているのはいいが、それに伴って欠損額も増えている。
事務局		コインバスの利用は増加しているが、欠損額が多いことから、乗っていない便のダイヤの見直しが生じる可能性はある。 効率的な運行を検討しなければならないと考えている。
委員		費用は、運行開始から5年が経過し、車両の修繕費が多くなっていることや、燃料の高騰により、増加したが、来年度は、車両の代替えを行うことから費用は減少するものと考えている。
会	長	小学校の合併によるスクールバスに、マイタウンバスをどのように利用していくのか。
事務局		開校準備委員会で検討している。 なお、マイタウン・バスにおけるダイヤやルートの変更は考えてない。 生徒数が多いため、学校近くの生徒は、スクールバスを補完する形で、マイタウン・バスに乗車する方向で検討している。 現在、PTAにその旨を提案し、検討してもらっている。
委員		4小学校の合併による通学手段については、基本的にスクールバスで対応する。 しかしながら、小学生を乗車させる場合、生理的なもの、遅刻時の対応、安全面等いろいろな問題が生じることが想定されるため、マイタウン・バスの利用は、近距離の児童に使ってもらう方向と聞いている。
委員		小学生を乗せても、営業成績はそれほど上がらない。 一般の人を乗せていかなければならない。 しかしながら、補完する形でマイタウン・バスを利用するのは良いと思う。
委員		利用者が増えた主な原因は。
事務局		主に温泉の利用者が増加したものである。
委員		コインバスの対象年齢が70才から68才に引き下げられたことや、温泉のバスの運行が、週5回から週2回となったため、その利用者がマ

イタウン・バスを利用することとなったようだ。

委員 川添コースの路線延伸について、聞きたい。

委員 川添コースが雄和市民サービスセンターまで路線が延伸されたため、今まで、椿川バス停留所が乗り継ぎ箇所であったが、雄和市民サービスセンターも乗り継ぎできるようになった。

委員 利便性が良くなったため、町内会等でバスを利用していきたい。

会長 引き続き、議事2 フリー乗降区間の設定について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (議事2の内容を説明)

会長 事務局からの説明について、何か質問、意見等あるか。

委員 フリー乗降のPRについては、どう考えているのか。

事務局 リーフレットの配布、市のホームページや広報等を利用し、PRしていきたい。

委員 バスの中にリーフレットやA3用紙の大きさのポスターを設置する。
なお、フリー乗降の利用の際、突然手を上げたり、席を立ったりすることで、車内事故が懸念される。
また、乗車する際は、意思表示を立ち止まってはっきりするようにしてもらいたい。

委員 西部線でフリー乗降を行っているようなので、車両にフリー乗降を表示したり、バス停に掲示するなど、参考にして運行して欲しい。

委員 乗降については、車内外のマイクで意思を確認したり、乗車の際は、前の席の方から座ってもらう。
また、PRポスターを掲示する。

会長 ほかに意見等がなければ、これで議事を終了する。
ー協議会終了ー

【参考意見】

議員 バスの中に大きい紙で大きな字のわかりやすいリーフレットを設置し、利用者への周知徹底をして欲しい。